

環境省委託事業
令和4年度金融機関の温室効果ガス排出量算定に係る能力向上支援及び制度に関する
調査・検討委託業務

【ポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業】
公募要領

1 背景

2015年のパリ協定採択以降、気候変動への取組はグローバル規模で急速に拡大し、「今世紀の世界的な平均気温の上昇を産業革命前と比べて少なくとも2℃より十分に低く保ち、理想的には1.5℃に抑える」ことが共通の長期目標となりました。我が国においても、2050年カーボンニュートラル宣言を始め、脱炭素社会の実現に向けた官民の取組が加速しています。一方で、こうした取組等を推進するためには、様々な課題が存在しています。

2022年7月に取りまとめられた金融庁のサステナブルファイナンス有識者会議第二次報告書において、金融機関と企業の対話促進の重要性が指摘されているところ、その前提として投融資先の排出量を把握・算定し、分析を行うポートフォリオ・カーボン分析が必要です。このため、環境省では、ポートフォリオ・カーボン分析に基づいた金融機関による企業への対話・エンゲージメントを促進することで、脱炭素に向けた企業行動の変革促進を目的に、情報発信及びパイロットケースの支援を行います。本パイロットケースでは、ポートフォリオ・カーボン分析を実際に行い、本支援事業を通じて得た知見及び成果を取りまとめた高度化検討報告書を作成する予定です。つきましては本事業へ参加を希望する金融機関を以下のとおり募集します。なお、本事業に関する事務運営は、環境省から委託を受けた有限責任監査法人トーマツ(以下「トーマツ」という。)が実施します。

2 本事業の詳細

● 対象機関の基本要件

脱炭素化に向けた投融資ポートフォリオにおける移行戦略の検討及び投融資先への対話・エンゲージメントを通じた脱炭素化の促進に取り組む意思があること。

ファイナンスドエミッションの算定等にあたり、必要データ等の情報取得に関し意欲的であること。

他金融機関への波及効果が期待できること。

分析結果の情報開示が可能であること。

● 事業内容

本事業は、ポートフォリオ・カーボン分析に関するパイロットプログラムの支援を実施します。支援方法としては、各参加機関との個別事前説明会、面談形式のポートフォリオ・カーボン分析支援、セミ

ナー形式の成果報告会、メール・電話等による質問事項への対応を実施します。なお、参加機関には支援に必要とされる資料の作成・提供をしていただきます。

■ 「個別事前説明会」(1回):90分を予定

場所:オンラインもしくは対面(支援期間を通じて1回程度対面での面談を予定しています)

日時:10月中旬(個別相談)

目的:ポートフォリオ・カーボン分析の概要と実施プロセスの理解

- ✓ 事業の全体像およびポートフォリオ・カーボン分析の意義、内容の説明
- ✓ 参加機関の取組の現状に関するヒアリング
- ✓ 第1回支援面談に向けた事前準備事項(※1)の説明、分析に必要なデータの依頼

■ 「ポートフォリオ・カーボン分析支援面談」(4回):それぞれ90分を予定

回数	概要
第1回	■ トップダウン計測結果を通じ、融資ポートフォリオのカーボンリスクの外観をつかむ
第2回	■ ボトムアップ計測結果を通じ、推計値と実績値による計測結果の違いをつかむ
第3回	■ 投融資先のGHG排出量削減に向けたセクター別の検討を通じ、セクターごとの脱炭素化に必要な視点をつかむ
第4回	■ 対話・エンゲージメントに向けた行内プロセスの検討を通じ、必要な社内体制などをつかむ

注:参加機関の取組状況やニーズを踏まえ、内容や粒度が変更になる可能性があります。

■ 「セミナー形式の成果報告会」(1回):半日程度を予定

目的:他金融機関の参考となるよう、支援事業で得られた知見、課題等について参加機関に報告いただく

- ✓ ポートフォリオ・カーボン分析支援事業で得られた結果、課題、投融資先の脱炭素化に向けた対話・エンゲージメント方策等に関する報告
- ✓ 今後の検討、対応策および体制に関するディスカッション

※1:本事業では、ポートフォリオ・カーボン分析を通じてポートフォリオのカーボンリスクを把握し、投融資先との建設的な対話・エンゲージメントにつなげることを目的としています。よって「●応募条件」で記載のある情報に関し事前準備を依頼することになります。なお、支援については、金融機関が事前準備する情報に基づき実施することから、支援先ごとに支援内容が異なる可能性があります。また、モデル事業であることから分析対象セクターを一定数に限定する場合があります。

● 応募条件

- (1) トーマツが実施する支援の範囲は、「2.本事業の詳細」の「事業内容」に示すとおりであり、参加機関は、支援に必要とされる資料の作成、当該情報を分析作業開始前に事前に準備・提供を行うこと。(ただし、場合によってはこれに限らずに提供を依頼する可能性がある。)

<必要情報>

- ✓ 投融資先の CO2 排出量(スコープ1・2、収集している場合にはスコープ3)
- ✓ 投融資先の業種分類、売上高
- ✓ 投融資先の CDP 回答(入手可能な場合)

- (2) 本事業はあくまでパイロットプログラムであり、対象セクター・対象アセットクラスをサンプルとして分析するとの趣旨を理解いただけること。
- (3) 参加機関が使用しているデータ、モデルを必要に応じて参照できること。
- (4) 本件の担当者を選出できる機関であること。
- (5) 個別事前面談、4回程度のオンラインもしくは対面での面談及び事前打ち合わせ・セミナー形式の成果報告会への参加が可能なこと。
- (6) 本事業によって得られた成果を報告書に記載し、環境省 WEB サイトへの掲載による公表が可能であること。また、本事業の成果を踏まえたポートフォリオ・カーボン分析の結果に関する一定の情報を他の金融機関に提供可能なこと。なお、報告書の公表に際しては、公表内容について参加機関と相談の上で実施する。

● 採択基準

- 応募条件を満たしている機関のうち、TCFD 開示の状況、自社の GHG 排出量の把握状況、投融資先の GHG 排出量データの収集状況、ファイナンスドエミッションの計測状況、サステナブルファイナンスおよび移行ファイナンスへの取組状況、投融資先への対話・エンゲージメントの状況、投融資ポートフォリオの特徴、担当者を含む推進・協力体制、セミナー形式の成果報告会への参加可否等を総合的に考慮し、支援対象を採択いたします。

● 支援スケジュール

支援スケジュールは10月中旬開始～2月中旬終了であり、具体的な日時は参加機関と調整の上で決定いたします。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別事前説明会	★					
支援面談(第1回)		←→				
支援面談(第2回)			←→			
支援面談(第3回)				←→		
支援面談(第4回)					←→	
成果報告会						★
報告書取りまとめ						←→

3. 募集期間

令和4年9月12日(月)～9月30日(金) 17:00まで

4. 応募手続きおよび参加機関の採択について

(1) 応募手続き

応募を希望する金融機関は、「応募申請書(資料 1-2 参照)」に必要事項を記載し、提出期限までに応募申請書提出先に電子メールにてご提出ください。提出された応募申請書は本事業の採択に関する審査以外の目的には使用しません。なお、郵送での応募申請書提出は受け付けておりません。

また、ご提出頂いた応募申請書の記載内容につきまして、不明点等がある場合には、本事業の事務局より確認のためのご連絡をさせて頂く可能性がございます。予めご了承下さい。

(2) 応募申請書の提出方法

応募申請書提出先:

E-Mail: shotaro.yabuki@tohatsu.co.jp; fi_carbon_analysis@tohatsu.co.jp;

有限責任監査法人トーマツ 矢吹・加藤宛

「応募申請書(資料 1-2 参照)」の①Word ファイル、②PDF ファイルの2種類を添付して、
shotaro.yabuki@tohatsu.co.jp; fi_carbon_analysis@tohatsu.co.jp; の2先にお送りください。

なお、メールの件名は下記のとおりご記載ください。

【金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業応募申請】 ○○○○(応募機関名)

(3) 参加機関の採択

審査・採択結果は、審査・選定の終了後、令和4年10月上旬を目途に、トーマツよりすべての応募申請者に速やかに通知する。また、採択機関については、応募機関名等を環境省WEBサイトにて公表する。

5. 免責事項

- (1) 本事業はトーマツが実施する。
- (2) 本事業に関する参加機関の交通費等は、参加機関が負担すること。
- (3) 支援面談は原則オンラインもしくは参加機関会議室における対面での実施を想定している。但し、状況によっては、トーマツ(東京都千代田区丸の内3-2-3丸の内二重橋ビルディング)で実施することも可能である。
- (4) 個別事前説明会および支援面談の資料の著作権は環境省およびトーマツに属し、参加機関は非独占的使用権を許諾されるものとする(複製、改変に関しては自己利用のみ可能)。
なお、実施結果の公開に関する著作権については、参加機関に属するものとする。
- (5) 本事業において、環境省およびトーマツに提供された機関情報および個人情報については、本委託事業の遂行に必要とされる範囲に限り、環境省およびトーマツが使用することに同意すること。
- (6) 本事業に著しい支障を与えると判断される場合においては、本支援を中止する場合がある。
- (7) 参加機関は、参加機関の役員等が、暴力団又は暴力団員でないこと、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていないこと、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していないこと、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していないことについて、確約したものとする。万一、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになった場合は、支援を中止する。

6. お問い合わせ先

有限責任監査法人トーマツ

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業 事務局 (矢吹・加藤)

* ご質問はメールにてお願いいたします。

E-Mail: shotaro.yabuki@tohatsu.co.jp; fi_carbon_analysis@tohatsu.co.jp; の2先にお送りください。

7. よくある質問

#	質問	回答
1	採択結果はいつ頃判明しますか	10月上旬を予定しております
2	支援面談に参加が必要なのは、どの部署の担当者ですか	ポートフォリオ・カーボン分析、投融資先とのエンゲージメント等を今後推進する部署の方に参加いただきたく存じます
3	本支援結果を、来年度の統合報告書、サステナビリティレポートに掲載するためのアドバイスはもらえますか	ポートフォリオ・カーボン分析の開示事例について、支援面談にてご紹介します
4	実施場所は、自社に来てもらえるのですか	一度は対面での支援面談実施を予定しています。なお社会情勢により都内においてもオンラインでの実施になる可能性があります
5	支援事業に参加費用はかかりますか	本支援は無料です
6	参加機関は、トーマツや環境省と機密保持契約などを締結することになりますか	要望・情報に応じて締結いたします
7	参加した社名は公表されますか	採択機関名は環境省 WEB サイトにて公開されます
8	応募の具体的な手順はどうなっていますか	本資料(公募正式書類)をご確認のうえ、「資料 1-2 応募申請書」にご記載いただき、メールにてご提出ください
9	応募機関名や、申請書の内容は公開されるのでしょうか	非公開の予定です
10	応募を辞退することは可能ですか	公募期間内であれば、事務局までご連絡いただきご辞退可能でございます 採択結果が環境省 WEB サイトに掲載されますので、採択決定後のご辞退はご遠慮ください